

一歩前進 校長室からのつぶやき

私自身が思っていること、考えていることをつぶやきたいと思います。

努力なしでは結果は出せない

間もなく、今年度最後の学年末テストがやってきます。今年1年の締めくくりのテストです。これまでのテスト準備に対する取り組みを振り返って、その反省点を生かし、満足できる結果につながるとよいですね。



そこで、今回は、「努力する」ということについて改めて考えてみたいと思います。

皆さん、努力は必要だと思いますか。また、努力には意味があると思いますか。

最近は、努力するということに対して否定的な意味を述べる人も見られます。努力しなくてもうまくやることができるというのです。

確かに、世の中そのようにして成功している人もいるかもしれません。しかし、多くの場合、努力は不可欠です。また、「努力は必要ない」と言っている人の中にも、自分では努力っていないだけで、他の人が見ると立派な努力をしている人が少なくありません。

やはり、結果を出すには努力が必要で、テストももちろんそうです。

一見するとすいすいと楽しそうに水面を進む水鳥も、水中では足を懸命に水を搔いています。

精進努力なしに、物事が成功することはあります。

定期テストも、努力なくしてよい成績を上げることはできません。誰かが努力せずよい成績をあげていると思ったのなら、それは、その人の努力が目に入っていないだけです。必ずどこかで早めにテスト勉強をはじめ、時間をかけたり、周りの人に教えてもらったりして、理解を深めています。つまり影の努力とでもいうのでしょうか・・・。皆さん、しっかりと計画的に努力を積みあげられる人になることを期待します。仮に点数に結びつかなくとも、努力した姿勢は残ります。これが積み重なれば、きっといつかは向上するはずです。

さあ、学年末テスト当日を迎えるまでの準備が大切です。準備をおろそかにせず、計画的に学習に取り組んでください。

